

# オーstromia 日本

## 貴人の四分の三身甲冑

ブラックアンドホワイトデザイン 1550年頃  
(シュタイヤーマルク州立博物館  
ヨアネウム 武器庫蔵)

16世紀には銀の刺繍がほどこされた黒いビロードの服、いわゆる「スペイン風の宮廷衣装」が公式の場における衣装とされていたが、その意匠が甲冑にも反映されている。



## 剣

1580-1620年  
(シュタイヤーマルク州立博物館  
ヨアネウム 武器庫蔵)

騎士が用いたもので、片手での使用を想定しているため、柄が短くなっている。大型の鍔(つば)は拳の保護と同時に、装飾的な意味をもつ。



## マッチロック式マスケット銃(火縄銃)

1600-1620年  
(シュタイヤーマルク州立博物館 ヨアネウム 武器庫蔵)

先込式の歩兵銃である。マッチロック式とは火種を金具で挟んで火皿に点火する方法で、従来の火種を手で押しつける方法から大幅に改良されており、16世紀の銃の主流を占めた。弾丸は従来のものの2倍の重さがあり、貫通力が大幅に増した。銃の改良にともない、以降の軍隊ではマスケット部隊が増え、戦場で銃が重視されることになった。

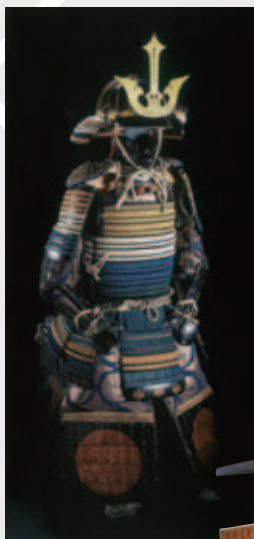
©UMJ/N.Lackner

©UMJ/N.Lackner

## いろいろおどしに まいどうくそく 色々威二枚胴具足

豊臣時代 16世紀末～17世紀初頭 (大阪城天守閣蔵)

豊臣秀吉近習(きんじゅう)の具足といわれ、尾張徳川家に伝来した16領のうちのひとつ。徳川家康の遺産として息子の義直(初代尾張藩主)に分与された。裾板や兜の吹返(ふきかえし)には桐文、胸板には竜文が金蒔絵される。



## よしひろさく 刀 銘 吉廣作/和泉国

室町時代 15世紀後半 (大阪城天守閣蔵)

吉廣は室町時代(15世紀後半)に和泉国で活動した刀工。代表作である本品から相当の技量であったことがうかがえるが、現存作品は極めて少ない。鞘(さや)の全体に金箔を押し桐文を散らした江戸時代の拵(こしらえ)が付属する。



## 長篠合戦図屏風

江戸時代 17世紀後半  
(大阪城天守閣蔵)

織田信長、徳川家康連合軍が武田勝頼を破った長篠合戦を描いた屏風。向かって右方に長篠城を描き、中央には川を挟んで鉄砲を並べた織田・徳川軍と、銃撃により倒される武田の騎馬



隊が描かれている。本品は尾張藩家老の成瀬家が17世紀後半に制作したと考えられる成瀬家本の屏風をもとに、尾張徳川家の周辺でつくられたものと推測される。

## 関連行事

### オープニングコンサート

#### 1 甲冑たちはこの音を聞いていた

～当時の「心」との出会い。戦場で人々の心を慰めたものは…～

日 時 3月24日(土) 午前10時30分～11時  
会 場 大阪歴史博物館 6階特別展示室内(予定)  
参 加 費 無料(ただし、入場には特別展観覧券が必要)  
出 演 フルート: 森本英希、リュート: 高本一郎、ソプラノ: 高見さなえ  
企画協力 日本テレマン協会  
曲 目 ジョスカン・デ・プレ: 千々の悲しみ(豊臣秀吉が実際に聞いた曲といわれる)  
J.ダウランド: 帰っておいで イタリア古謡: シチリアーノ ほか(予定)

### 講演会

#### 2 新発見『豊臣期大坂図屏風』との出会い —そしてグラーツ・大阪の友好へ—

日 時 4月15日(日) 午後2時～午後3時30分  
講 師 高橋隆博氏(関西大学博物館館長)  
会 場 大阪歴史博物館4階講堂  
定 員 250名  
参 加 費 300円(特別展観覧券または半券提示で無料)  
参加方法 当日先着順ですので、直接会場までお越しください。  
(受付は13時30分～)



ワニガメ 入園月日: 1970年1月15日(生年月日不明)  
体重: 51.9kg 甲長: 63cm 甲高: 26cm 甲幅: 45cm

## ◆ 学芸員のおススメコレクション ◆

### 天王寺動物園 ワニガメ(カミツキガメ科ワニガメ属)

このカメは、咬む力が強く竹棒程度なら咬みちぎってしまいます。エサは動物性食の強い雑食性で、魚類、は虫類、両生類、哺乳類、鳥類、貝類から果実までなんでもござれ。エサを獲るときに舌にある肉質の器官を疑似餌のように動かして魚類を誘って捕食する事もあります。もちろん危険な動物ですから、一般の方が飼うには自治体の許可が必要です。

普段はアイファアのバックヤードで飼育されており、みなさんに見て頂ける機会は企画展の時だけです。ぱっと見は大人しく、じっとしていますが、ゆめゆめ手を入れてみようなどと思わないでください。

(天王寺動物園獣医師 今西隆和)

※今回で紹介したワニガメは、天王寺動物園内レクチャールームで開催する「外来生物の脅威」展にて展示されます(3月26日(月)～4月1日(日))

天王寺動物園 所在地 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-108

TEL 06-6771-8401 FAX 06-6772-4633 アクセス 地下鉄「動物園前」1号出口、「恵美須町」3号出口、「天王寺」5号出口 ホームページ http://www.jazga.or.jp/tennoji/

